



## 3月の園だより

学校法人志賀学園

認定こども園 平第一幼稚園

令和7年2月28日

春寒の候、保護者の皆様には日頃よりこども園に対し、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度も残すところ残りわずかとなってきました。さくら組のお部屋を覗くとホワイトボードの横に卒園までの残り何日かが分かるように日めくりカレンダーが子どもたちと作られており、少しずつ子どもたち自身も修了・卒園に向けて心の準備も始まってきています。そんな中で、子どもたちの気持ちも次年度に向けた期待だけでなく、不安や緊張も織り交じった様子もあり疲れも溜まってくる時期でもあります。お仕事がお休みの日には、早めのお迎えをお願い致します。

### 【ひなまつりについて】

来月3日は、ひなまつりです。五節句のうちの1つでもある「桃の節句」とも呼ばれています。

ひなまつりは、家の中にひな人形と桃の花を飾って女の子らしい彩りのある空間を演出するのが通例になりますが、ひなまつりを行う意味としては、女の子の無病息災と幸せな成長を願い、ひなまつりに因んだ御馳走を囲み、家族や親戚とお祝いすることになります。

### 【いつから始まったのか】

ひなまつりは、中国からの伝わってきた行事になります。旧暦の3月3日である上巳（じょうし）は、3月最初の「巳の日（みのひ）」とされ、災いや穢れ（けがれ）を払うために水で体を清めて宴を催す習わしがありました。日本に伝わったのは平安時代ごろと言われており、現代でも各地でおこなわれている「流し雛」の原型になったとされています。

### 【なぜひな人形をかざるのか】

平安時代に紙で作った人形（ひとがた）に自分自身の災厄を移して川や海に流して清める「流し雛」となりました。更に同じころに貴族の子女（しじょ）の間で行われていたおままごと遊びである「ひいな遊び」と一緒になり、現在のひなまつりになったと云われています。

女の子の行事として、ひな人形を家に飾る習慣が定着したのは、江戸時代に入ってからです。やがて、女の子の成長と幸せを願って、家族や親戚みんなでお祝いする現在の形になりました。

### 【ひな人形を飾り始める時期と片付ける時期】

飾り始める明確な時期は決まっていますが、暦の上では春になる立春から2月中旬ごろまでに飾るのが一般的です。平第一幼稚園では、その中でも大安に飾るようにしています。

3月3日の前日に飾ることは葬儀と同じ「一夜飾り」となり、縁起の悪いものとされています。

片付けの時期については、よくひな人形を早く片付けないと婚期が遅れるといわれますが、季節の飾りであるひな人形をすぐに片付けるのは、大切な物を丁寧に扱い、身辺をきちんとするという躰の意味が込められています。

### 【子どもの特性 まとめ】

今年度から園だよりにて、年齢ごとの育ちの特性について掲載させていただきました。「遊び」の中から様々な気持ちを感じたり、気づいたり「心の学び」に繋がってきます。この学びは家庭でも同じく育まれる部分でもあります。令和7年度の平第一幼稚園の教育方針は「こどもたちの遊びを深める保育をしよう」です。

子どもたちは自然と遊びを見つけ遊び込み才能に溢れています。そこに保護者さんや、友だち、先生たちとの関わりを通してより遊びが広がり、たくさんの経験に繋がっていきます。次年度も職員一同お子様に寄り添いながら楽しい保育ができるよう取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。また、さくら組の保護者の皆様におかれましては、幼児期の重要な時期を平第一幼稚園にお預けいただき誠にありがとうございました。

平第一幼稚園 坂本卓哉